

第36回

有島武郎青少年公募絵画展



有島 武郎 Arishima Takeo

1878(明治11)年生まれ。『或る女』、『カインの末裔』などの代表作で知られる小説家。東北帝国大学農科大学教官時代には、美術同好会「黒百合会」の創立に関与するなど、北海道の美術史にも足跡を残す。

1918(大正7)年から発表された有島武郎の小説『生れ出づる悩み』は、のちの画家・木田金次郎が自らの境遇や絵画制作を続けるか否かに悩んでいた時、偶然に有島の住まいを見つけて、訪問した事実がモデルとなっている。木田は、この運命的な出会いをきっかけとして、有島の励ましを受けながら、郷土・岩内の自然と深く対峙して、画業を極めていく。この作品に描かれる、芸術と実生活との間で苦悩しながらも、絵を描こうとする芸術家の姿は、多くの読者の共感を得て、有島の代表作の一つと称されている。

1922(大正11)年、狩太(現・ニセコ町)に所有した自らの農場を無償解放し、翌年に軽井沢で没する。

第36回
有島武郎青少年公募絵画展

会期
2024年10月26日(土)－11月10日(日)
会場
有島記念館 特別展示室
主催
ニセコ町、北海道新聞社
主管
ニセコ町教育委員会
後援
北海道、北海道教育委員会

ごあいさつ

このたび有島記念館では、「第36回有島武郎青少年公募絵画展」を開催します。

当館が顕彰する有島武郎は、大正期を代表する白樺派の作家であるとともに、明治期の北海道における美術史にも足跡を残しました。

有島は、1908(明治41)年、東北帝国大学農科大学美術同好会「黒百合会」の創設に関与します。

有島は、同会個展に自作を出品するほか、美術雑誌としての側面を持っていた雑誌『白樺』の同人でもあったことから、後期印象派やロダンの彫刻作品などを紹介しました。

この個展で有島の作品に深い感銘を受けたのは、若き日の木田金次郎です。

その後、有島は木田を励まし、木田は郷土に根ざした画家として歩みを始めるのです。

有島記念館では、有島が持っていたこの美術振興の精神を継承するため、1989(平成元)年より本公募絵画展を開催しております。

今回は285点の応募があり、10月17日、18日の両日に審査会《審査委員長:佐藤友哉(前・札幌芸術の森美術館館長、美術評論家)、審査員:羽山雅倫(画家、全道展会員)、西村明美(画家、道展会員)、佐藤武(画家)、久米淳之(北海道立近代美術館)》を実施。入賞・入選作品計102点が決定しました。

みなさんが切磋琢磨し、北海道はもとより、日本、そして世界をまたにかけて活動するアーティストへと、また美術活動に理解のある大人として成長していただくことが、主催者としての望みです。

最後になりましたが、この公募展の開催にあたり、出品者をはじめ、中学校及び高等学校美術教諭のみなさまなど、多くの方々にご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

主催者 ニセコ町
北海道新聞社

目次

ごあいさつ

「有島武郎青少年公募絵画展を審査して」 羽山雅倫（はやま・まさよし—全道美術協会会員）	06
--	----

入賞作品	07
入賞・入選作品一覧	19

審査委員

審査委員長

佐藤友哉（前・札幌芸術の森美術館館長）

審査員

羽山雅倫（全道展会員）

西村明美（道展会員）

佐藤 武（画家）

久米淳之（北海道立近代美術館上席専門員）

以上の5名により、2024年10月17日、18日の両日、
有島記念館にて厳正な審査が行われました。

謝辞

本公募絵画展の開催にあたり、多くの方々にご協力を賜りました。
厚く御礼申し上げます。

佐藤友哉
羽山雅倫
西村明美
佐藤 武
久米淳之
北海道
北海道教育委員会

（順不同・敬称略）

「有島武郎青少年公募絵画展を審査して」

羽山雅愉（はやま・まさよし＝全道美術協会会員）

この展覧会中は・高校生を対象とした絵画展で平成元年から始まり、今年で36回目を迎えるに至った。

応募総数は285点、その内訳は、高校119点、中学166点の出品があった。出品は一人複数点から1点とし、より出品時の困難さが増したと思う。

又、生徒数の減少に伴い出品数も徐々に寂しい状況になるなと思っていたが杞憂に終わった。そして、応募作は会場を埋め尽くし何時もながら審査委員諸氏を圧倒する多さであった。

その審査は2日間にわたり慎重かつ困難なものとなった。審査委員長の佐藤友哉氏（前・札幌芸術の森美術館長）、西村明美（北海道美術協会）、新たに佐藤武（画家）、久米淳之（北海道立近代美術館）と私に加わり5人体制となった。

入賞は26点と入選76点、合わせて102点と例年通りの極めて厳しい厳選となり、若者らしいひたむきな表現の作品が多いだけに、審査員の熟考と困難さに心が痛むことがあった。

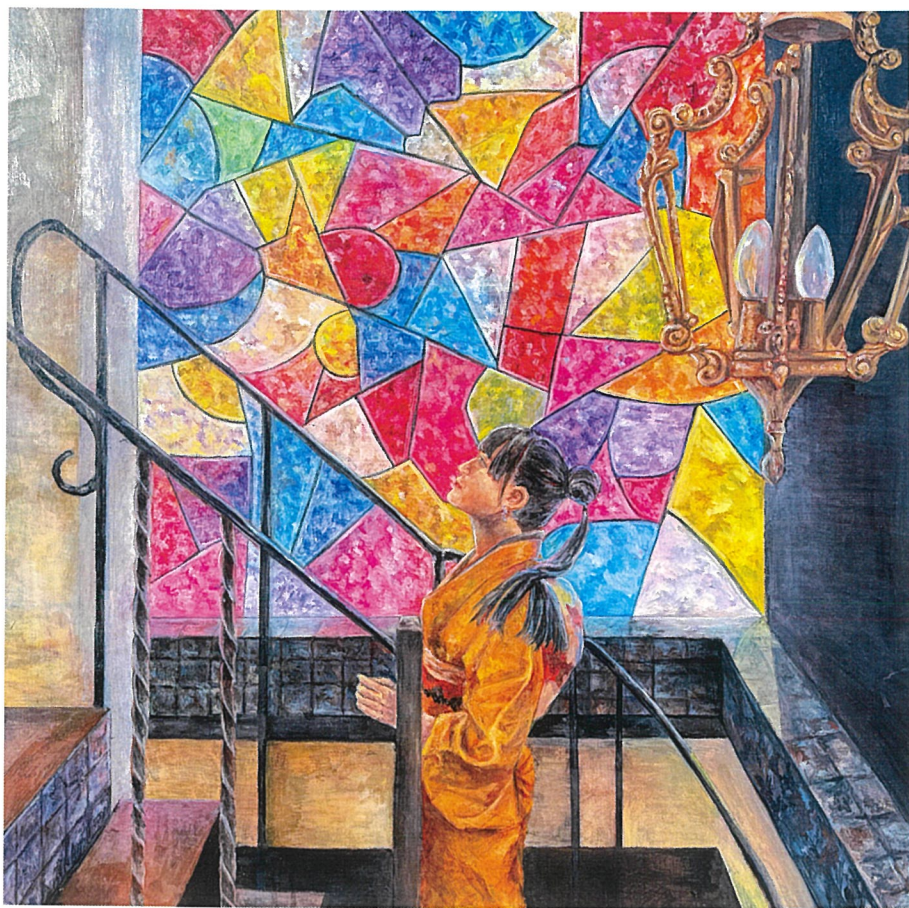
先ず今回出品された全体的な印象は、制作技術の向上に驚かれたことである。明るく上質な色彩、明確な形を駆使してその「何を」、「どう描くか」は私たちが営々と築いてきたことでその時の重さを感じるが、青少年が持つ現実や夢、不安と喜びのイメージがより視覚化され工夫の努力が見える表現となってきた。そうした傾向は入選・受賞作にも反映し審査員全員が高く評価している。そうした中で惜しくも受賞をいった作品の中にも優れた作品がたくさんあり、これからの展開に希望が持てるものとなった。

特に最高賞である有島武郎賞の出口明日架さんの作品は、ステンドグラスの前に着物で佇んでいる女性の美しさと、視線の奥深さを観る人に強く印象付けた表現であった。

私たちの社会情勢は目まぐるしく変化し、その時々をあらゆる情報がもたらされる中で、自分の内なる声を聴きくことはより困難さを増し、その精神的歴史もまた多様化していくのだろうか。

そうした事は簡単なことではないけれど、誰もが持っている自由と無限な能力は平等であり、人として表現することの意義を再び考える契機ともなった。

審査が終わり瀟洒な有島記念館を出ると天気は珍しく秋晴れで、上気した頬を風が優しくなでていき手前の道路はどこまでも遠い。あの有島武郎も望んだように若者たちが風の中を限りなく歩んでく姿が見え頼もしくも羨ましくも思った。



《夢明》
出口 明日架 北海道江別高等学校3年

寸評（羽山雅倫）
ステンドグラスと和服のモチーフが美しく、
手すりとその視線に意外性があり完成度が高い。



《Dreaming midway》
真鍋 紗姫 北海道札幌東陵高等学校3年

寸評（羽山雅愉）

少女の仕草が目を引く。

色彩が豊かで周りのモチーフがひしめき作画姿勢の柔軟性がある。



《息吹》

山木 優奈 駒澤大学附属苫小牧高等学校2年

寸評（羽山雅倫）

モノクロ調のペン画で繊細。

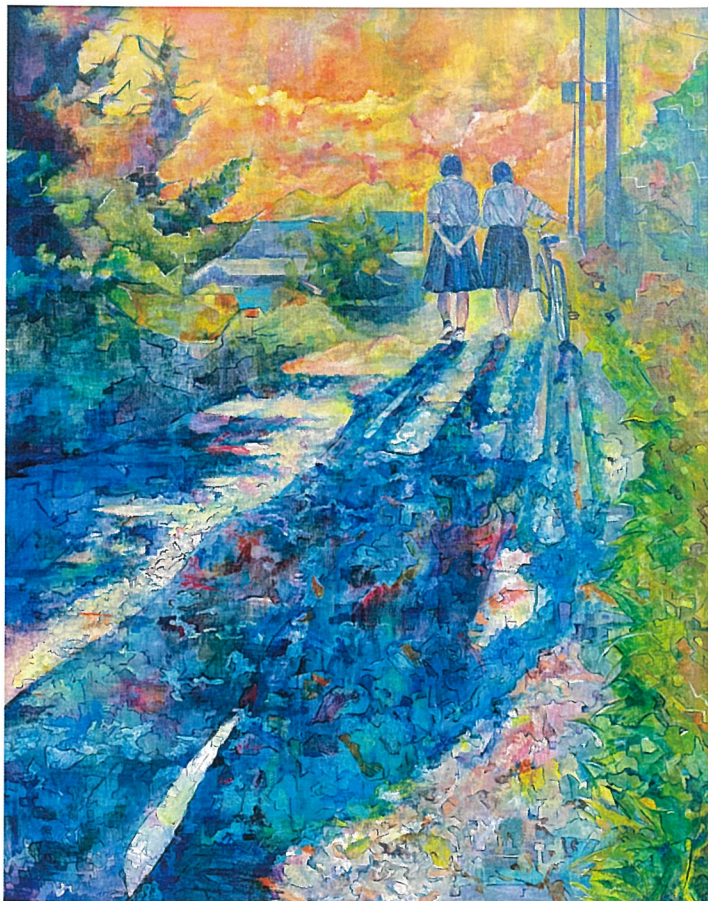
亀と思しき姿からの発想が的確で密度が高く独自性がある。



《新たな命の君になにしてあげよう》
加藤 夏映良 北海道岩内高等学校1年

寸評（羽山雅倫）

画面全体の色調が抑えられ的確な表現力が秀逸。
周りの描写も暖かく伝わり完成度が高い。



《三年過》
小田原 華香 北海道札幌厚別高等学校2年

寸評（羽山雅倫）

二人の少女の後ろ姿が魅力的で長い影が時間の深さを増す。
薄塗りの描写が美しく印象的。



《月下美人》
佐藤 由那 札幌大谷高等学校2年

寸評（羽山雅倫）

全体が青に統一され水中の表現が幻想的で動きがある。

少女の息ぶきにリアリティがあり知的。



《塗り重ねる空白》
及川 徳真
北海道高等聾学校1年



《今だけをうつして》
笹 百花
市立札幌平岸高等学校2年



《歩む》
川崎 碧唯
北海道北見柏陽高等学校3年

審査員特別賞



《甲羅の上の公園》
齊藤 さよ
札幌大谷中学校1年



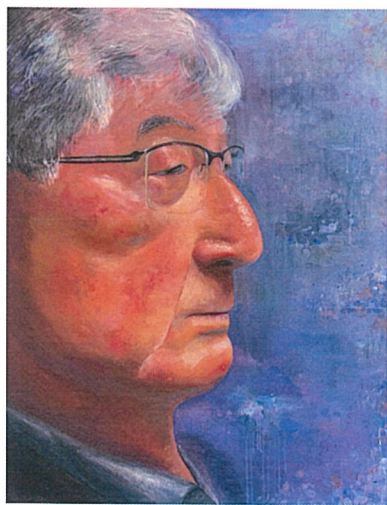
《黄昏時の飛躍》
會田 紬
石狩市立花川南中学校2年



《帰り道》
小玉 陽愛
札幌大谷高等学校1年



《コロボックルとカナヘビ》
岩村 佳苗
札幌大谷高等学校2年



《じーやん》
大城 光叶
札幌大谷高等学校2年

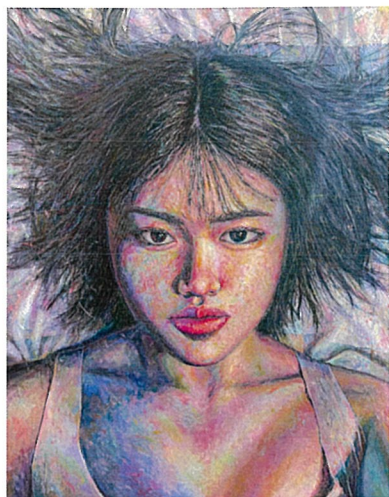


《幻視信号815》
竹内 向日葵
札幌大谷高等学校2年

奨励賞



《カブレーゼ》
千葉 ひなつ
札幌大谷高等学校2年



《羨望》
木村 愛美
駒澤大学附属苫小牧高等学校3年



《廻る、回る》
山下 志衣
札幌大谷高等学校2年



《努力》
後藤 真衣
駒澤大学附属苫小牧高等学校3年



《溶けて滞る所》
中村 由希乃
北海道札幌厚別高等学校2年



《Love it》
山本 真亜沙
北海道岩内高等学校1年



《黄昏の背中》
堀 芽生
岩内町立岩内第一中学校2年



《夜の街》
池谷内 那奈
釧路市立青陵中学校3年



《テトラポットのある風景（岩内）》

宮川 絢音

岩内町立岩内第二中学校3年



《思春期》

山崎 花里菜

浜中町立茶内中学校3年



《映り方の違い》

河上 心寧

石狩市立花川南中学校3年

入賞・入選作品一覧

左より作品名、出品者名、出品者学校名、学年の順
敬称略

有島武郎賞

夢明	出口 明日架	北海道江別高等学校3年
北海道知事賞		
Dreaming midway	真 鍋 紗 姫	北海道札幌東陵高等学校3年
北海道教育長賞		
息吹	山 木 優 奈	駒澤大学附属苫小牧高等学校2年
ニセコ町長賞		
新たな命の君になにしていこう	加藤 夏映良	北海道岩内高等学校1年
ニセコ町教育長賞		
三年過	小田原 華香	北海道札幌厚別高等学校2年
北海道新聞社賞		
月下美人	佐 藤 由 那	札幌大谷高等学校2年
審査員特別賞		
塗り重ねる空白	及 川 徳 真	北海道高等聾学校1年
歩む	川 崎 碧 唯	北海道北見柏陽高等学校3年
今だけをうつして	笹 百 花	市立札幌平岸高等学校2年
甲羅の上の公園	齊 藤 さ よ	札幌大谷中学校1年
黄昏時の飛躍	會 田 紬	石狩市立花川南中学校2年
奨励賞		
帰り道	小 玉 陽 愛	札幌大谷高等学校1年
コロボックルとカナヘビ	岩 村 佳 苗	札幌大谷高等学校2年
じーやん	大 城 光 叶	札幌大谷高等学校2年
幻視信号 8 1 5	竹 内 向日葵	札幌大谷高等学校2年
カプレーゼ	千 葉 ひなつ	札幌大谷高等学校2年
廻る、回る	山 下 志 衣	札幌大谷高等学校2年
羨望	木 村 愛 美	駒澤大学附属苫小牧高等学校3年
努力	後 藤 真 衣	駒澤大学附属苫小牧高等学校3年
溶けて滞る所	中 村 由希乃	北海道札幌厚別高等学校2年
Love it	山 本 真亜沙	北海道岩内高等学校1年
黄昏の背中	堀 芽 生	岩内町立岩内第一中学校2年
夜の街	池谷内 那奈	釧路市立青陵中学校3年
テトラポットのある風景 (岩内)	宮 川 絢 音	岩内町立岩内第二中学校3年
思春期	山 崎 花里菜	浜中町立茶内中学校3年
映り方の違い	河 上 心 寧	石狩市立花川南中学校3年

入選

高 校

命	相 沢 柚 衣	札幌大谷高等学校1年
誓い	伊 藤 百 音	札幌大谷高等学校1年
多重	上 田 音 翔	札幌大谷高等学校1年
故郷	川 端 愛 聖	札幌大谷高等学校1年
レイトゥルギア	越 野 千 尋	札幌大谷高等学校1年
独	鈴 木 真 央	札幌大谷高等学校1年
海とお母さんの一部	須 摩 悠 里	札幌大谷高等学校1年
生まれ出る	田 村 柚 葉	札幌大谷高等学校1年
旅桌	西 田 菜 桜	札幌大谷高等学校1年
我	藤 井 佑 衣	札幌大谷高等学校1年
雨の車内	三 浦 泰 地	札幌大谷高等学校1年
和傘通り	村松 にいな	札幌大谷高等学校1年
口にできる幸せ	谷 地 優 貴 子	札幌大谷高等学校1年
あどけない	阿 部 姫 花	札幌大谷高等学校2年
酸っぱいぶどう	池 田 小 春	札幌大谷高等学校2年
走る緊張感	石 神 琉 已	札幌大谷高等学校2年
共存	庵 美 沙 希	札幌大谷高等学校2年
乱脈	太 田 遥	札幌大谷高等学校2年
空に憧れて	鍵 谷 海 音	札幌大谷高等学校2年
人手不足!!	河 口 陽 奈	札幌大谷高等学校2年
t i m e & r e c o r d	佐々木 優衣	札幌大谷高等学校2年
尊大な羞恥心	柴 山 柚 葉	札幌大谷高等学校2年
この雪が落ちるまで	白 鳥 桃 歌	札幌大谷高等学校2年
A がーる i n らあめん	菅原 胡乃葉	札幌大谷高等学校2年
到来	富樫 ののか	札幌大谷高等学校2年
日常	能 井 心 菜	札幌大谷高等学校2年
壺	治 山 侑 菜	札幌大谷高等学校2年
えすかるご	藤 川 陽 南	札幌大谷高等学校2年
M a p l e	藤 田 萌 悠	札幌大谷高等学校2年
芯	皆 木 穂 乃	札幌大谷高等学校2年
A t e l i e r	中 村 澪 珈	札幌大谷高等学校3年

輝	野 島 虹 世	北海道札幌啓成高等学校3年
偽笑	神 例 小 雪	駒澤大学附属苫小牧高等学校2年
光儚	藤 野 花 音	駒澤大学附属苫小牧高等学校2年
思考が止まれば「青」「藍」「碧」	松 浦 佳 凜	駒澤大学附属苫小牧高等学校3年
幻想	山 田 夕 結	駒澤大学附属苫小牧高等学校3年
彼処まで	佐 藤 芽 依	北海道札幌厚別高等学校2年
閃光から見える動作	篠 原 真 歩	北海道札幌厚別高等学校2年
のう	長 浦 実 由	北海道札幌厚別高等学校2年
染まる	西 崎 あおい	北海道札幌厚別高等学校2年
ワタシ。の悩み	斉 藤 空	北海道岩内高等学校1年
無垢の音色	澤 口 優 希	北海道岩内高等学校1年
息づらい俯瞰の内へ	濱 崎 結 衣	北海道岩内高等学校1年
知識の小片	菱 沼 夕 楓	北海道岩内高等学校1年
閃く	今 野 優 人	北海道高等聾学校1年
ジャック オー ランタン	高 橋 諒	北海道高等聾学校2年
s a l t V	恩 田 一 由	北海道高等聾学校3年
戯れ	鈴木 いちご	北海道高等聾学校3年
リュウ	真 壁 栳	北海道北見柏陽高等学校3年
深海食物網	小屋畑 桃子	北海道室蘭東翔高等学校1年
空へ	山 下 真 依	北海道室蘭東翔高等学校1年
神秘	岩 崎 結 芽	北海道室蘭東翔高等学校2年
憂愁	長谷部 桃花	北海道室蘭東翔高等学校2年
みえないけれどそこに居る	佑 井 梨 子	学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校3年
冬夜の林	畑 本 晴 也	北海道白樺高等養護学校3年
ふわふわ	寺 町 雫	北星学園大学附属高等学校2年
中 学		
四季	中 田 陽 莉	千歳市立青葉中学校1年
やってくる毎日	表 谷 賢 一	千歳市立青葉中学校2年
クラゲ	小 松 莉 子	千歳市立青葉中学校2年
迷いもの	中 川 うみか	千歳市立青葉中学校2年
欲	岡 田 悠 杏	千歳市立青葉中学校3年
新道の春漣	大 山 夏 希	江別市立江別第二中学校3年
冒険	金 山 唯	江別市立江別第二中学校3年

月華の下で輝く街	鈴木 愛来	岩内町立岩内第一中学校2年
今の私	伊藤 美月	札幌大谷中学校3年
努力の結晶	小川 知友里	札幌大谷中学校3年
頭の中	晴山 らいら	札幌市立月寒中学校2年
記憶の胎海	城 理 仁	札幌市立月寒中学校3年
葛藤	高野 千賀子	星槎もみじ中学校3年
宇宙のかなた	井上 美心	釧路市立青陵中学校3年
華	今野 咲那	釧路市立青陵中学校3年
恒河沙	北濱 茜音	岩内町立岩内第二中学校3年
岩内神社	佐竹 穂乃花	岩内町立岩内第二中学校3年
高嶺之花	井上 はな	札幌市立山鼻中学校2年
海月と夢	谷本 柊音	浜中町立茶内中学校3年
ワープ	東山 莉奈	江別市立野幌中学校3年

『第36回有島武郎青少年公募絵画展』統計

応募作品	285点	入賞・入選作品	102点
高校生	119点	高校生	75点
中学生	166点	中学生	27点

図録『第36回有島武郎青少年公募絵画展』

発行日
2024年10月26日初版発行

編集・発行
ニセコ・有島記念館
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57

印刷・製本
株式会社サンコー

この展覧会図録の編集・デザインは伊藤大介(有島記念館
主任学芸員)が担当しました。

有島記念館の若手芸術家応援の取り組みについて

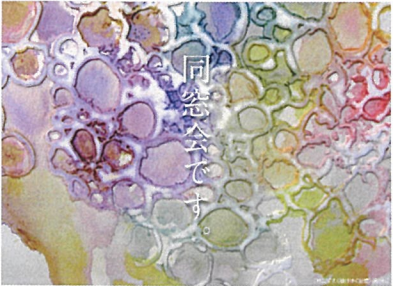
有島記念館では、美術、音楽など若手芸術家に発表の場を提供するために2012年より展覧会やコンサート事業などさまざまな取り組みを行っています。美術関連では、過去の「有島武郎青少年公募絵画展」入選・出品者をはじめとして、活発な活動を行う作家を企画展「有島記念館若手作家展」シリーズとして紹介してきています。

このほか、35歳以下の作家を対象とした「平成の『生れ出づる悩み』コンテスト」を隔年で開催しています。また、2016年度より当館で紹介した若手作家の作品の購入・收藏を行い、その活動を後世へ伝える取り組みも行っています。

有島記念館35周年・有島武郎青少年公募絵画展25周年記念

再会 reunion

有島記念館若手作家展Ⅰ



河野健 Kawanishi Kenji
新見亜矢子 Araya Araya
會田千夏 Chika Aida
駒澤千波 Chika Komasawa
佐藤仁敬 Sato Ninori
浜地彩 Hamachi Aya
林こずえ Riki Hayashi
加藤翠 Kato Aoi

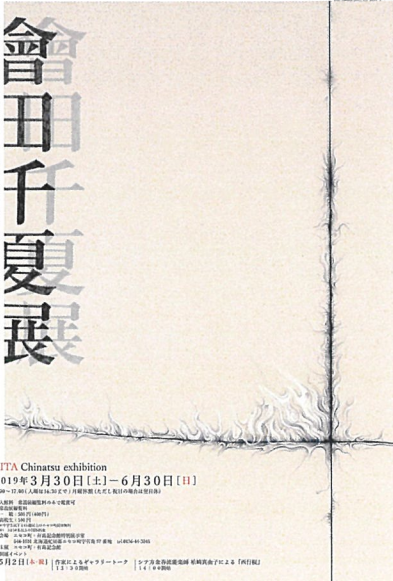
2013年7月1日(日)~9月29日(日)
9:00~17:00(入館は16:30まで) ※会期中間休
二セコ町・有島記念館 特別展示室
TEL:0232-7679(有島館) TEL:0234-413542

■観覧料：常設展観覧料のみで鑑賞可
特別展観覧料：一般観覧料100円、中学生以下50円
学生以下は学生証を提示し、有島記念館のホームページより
申し込みが必要です。申し込みは2013年10月31日(木)まで
※15歳未満は保護者同伴で入館してください

有島記念館 有島武郎青少年公募絵画展25周年記念

有島武郎青少年公募絵画展25周年記念 有島記念館若手作家展Ⅱ

會田千夏展



AITA Chinatsu exhibition
2019年3月30日(土)~6月30日(日)
9:00~17:00(入館は16:30まで) 月曜閉館(ただし祝日の場合は開館)
二セコ町・有島記念館 特別展示室
TEL:0232-7679(有島館) TEL:0234-413542

■観覧料：常設展観覧料のみで鑑賞可
特別展観覧料：一般観覧料100円、中学生以下50円
学生以下は学生証を提示し、有島記念館のホームページより
申し込みが必要です。申し込みは2019年10月31日(木)まで
※15歳未満は保護者同伴で入館してください

有島記念館 有島武郎青少年公募絵画展25周年記念

過去の「有島記念館若手作家展」

- 第1回：「再会-reunion展」(2013年)
- 第2回：「山下隆博写真展」・「新見亜矢子展」(2015年)
- 第3回：「平成の『生れ出づる悩み』2014展」(2015年)
- 第4回：「駒澤千波展」(2015年)
- 第5回：「石垣渉展」(2016年)
- 第6回：「カトウタツヤ展」(2017年)
- 第7回：「河野健展」(2017年)
- 第8回：「平成の『生れ出づる悩み』2016展」(2017年)
- 第9回：「曾田千夏展」(2019年)

作品を購入・收藏した若手作家

山下隆博、新見亜矢子、駒澤千波、石垣渉、カトウタツヤ、河野健、會田千夏
(敬称略)

有島記念館

Arishima Takeo Memorial Museum